

英国の世界初の住宅向け再生可能熱インセンティブ (RHI)の申込みが増加

英国 DECC – Department of Energy & Climate Change (エネルギー気候変動省) により
ますと、昨年4月からスタートした世界初の住宅向け再生熱インセンティブ(以下 RHI-
Renewable Heat Incentive) の申込みが1年足らずで25,000件に達したと発表された。

ご承知の様に、この RHI は住宅所有者や公共住宅の所有者である自治体に再生可能エネルギーを使って生成された熱エネルギーに対して表1.のインセンティブが kWh 熱ベースで支払われる制度です。(生成された熱エネルギーは図1.の Heat Metre で読み取られる。)

*25,000 件の熱エネルギー別内訳やインセンティブ金額等は未発表です。

表 1.住宅用 RHI インセンティブ表

機器名称	再生可能熱エネルギーの種類	インセンティブ	インセンティブ
		ペンス/Kwh 熱	円/Kwh 熱
空気熱回収ヒートポンプ	空気熱	7.3	12.4
バイオマスボイラー	木質バイオマス	12.2	20.7
地熱回収ヒートポンプ	地熱	18.8	31.9
太陽熱温水システム)	太陽熱	19.2	32.6

出所 : Gov.UK 為替レート : ¥170/ £



図 1. 代表的な英国製の Heat Metre

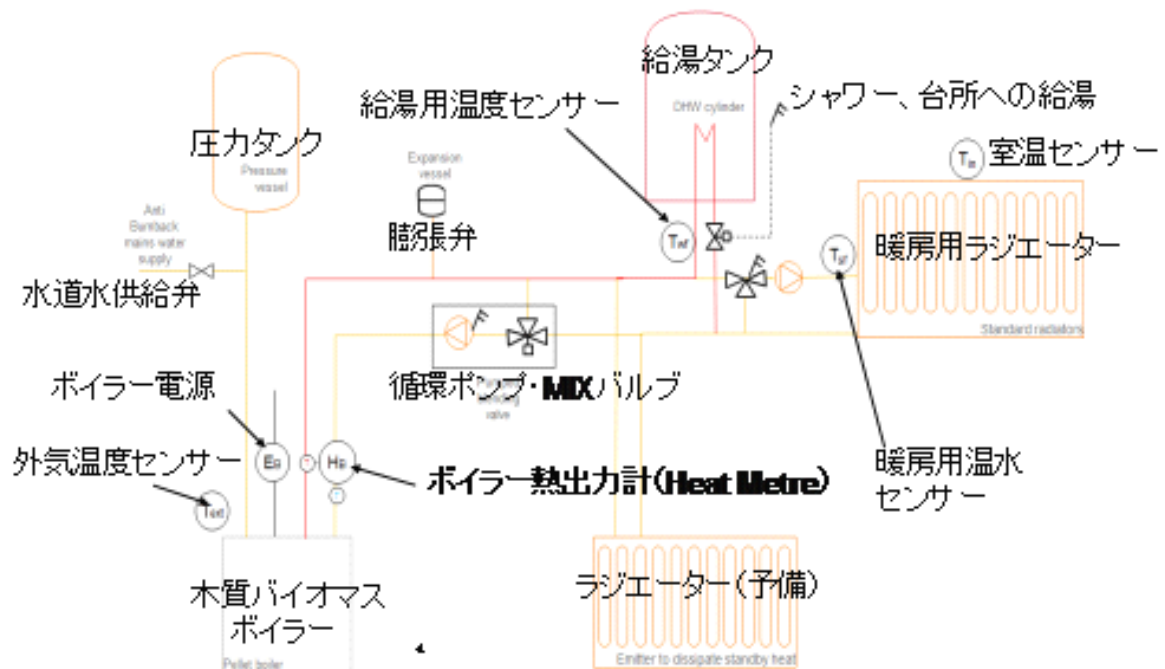


図 2. RHI 仕様の住宅用木質バイオマスボイラー使用時の給湯暖房システム例

DECC のアンバー・ルッド大臣は世界初の住宅向け RHI で 25,000 件もの多くの住宅所有者からの申込みがあったのは RHI 制度の関心の高さを伺い知ることが出来、大変満足している。私達はもっと住宅所有者がこの RHI 制度を認知し理解して頂ける様に、英国各地で DECC 主催の説明会を開催するので多くの方々が参加し、省エネとエネルギーコスト削減の恩恵を受けることを希望します。RHI の狙いは商業施設、事業所だけでなく住宅でも再生熱エネルギーの導入を促進し低廉な給湯暖房費と CO2 削減に貢献出来ることである。

日本も再生可能エネルギーによる発電、特に太陽光発電に偏重した FIT 制度だけでなく図 3 に示す日本の最終エネルギー消費の構成比から、家庭部門と業務部門併せて 1/3 を占め、その内、家庭部門では 55%、業務用では 40%が熱エネルギー消費で占められている現実を鑑みますと、熱エネルギーの再生可能熱エネルギーへのシフトは日本にとっては極めて重要な課題であります。

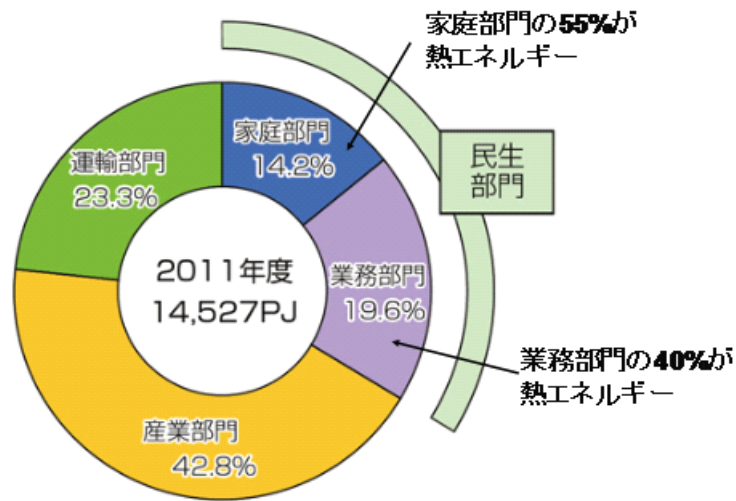


図3. 日本の最終エネルギー消費の構成比 (2011年度)

出所:資源エネルギー庁

英国は2011年に**業務用 RHI 制度**を導入、2014年4月には世界初の**住宅用 RHI 制度**の導入し、着実に再生可能熱エネルギーへの転換を進捗させている **DECC** の戦略は日本にとっても示唆に富む施策であるはずだ。”英国に出来て、日本に出来ない事象”の一つではないかと思われます。(了)